

サーモグラフィで機器温度の「いつもと違う」を発見し、  
設備の予防保全に役立てませんか？

FLIR T540



FLIR C5



# サーモグラフィで異常兆候を見つける!!

## 設備保全の方法

BM (事後保全)	Breakdown Maintenance	故障後の修理復旧
PM (予防保全)	Preventive Maintenance	壊れる前に修理
TBM (時間基準保全)	Time Based Maintenance	故障有無関係なく定期的にメンテナンス (交換) 故障予知が難しく、見誤るとBMに陥る
CBM (状態基準保全)	Condition Based Maintenance	機器稼働状況を定期的に確認し、異常兆候にある機器のみを交換修理
RCM (信頼性中心保全)	Reliability Centered Maintenance	TBM, CBMを組み合わせて、機器に応じた保全方法を選択。機器仕様、運用状況でリスク分析、評価にて保全手法を選択

機器の焼損予兆やモータ過負荷は、クランプメータで電流・電圧を測定するだけでは判断できません。サーモグラフィを用いることで、**機器の劣化による発熱**か、**過負荷による発熱**なのかの判断が可能です。

FLIRサーモグラフィはお手軽な価格から高精度な商品まで多数用意しています。デモ機の内蔵もありますので、オムロン関西までお気軽にお問い合わせ下さい。